

伊深 まちづくり協議会 だより



第 31 号

2015 (H27) 年 10 月 1 日発行

伊深まち協 HP アドレス : <http://ibukamachi.com>

- ・特集 お月見会を初めて開催 1
- ・活動グループ報告・地域のトピックス 3
- ・協議会の動き 4



月と琵琶とだんご汁 – 伊深まち協お月見会を初めて開

月はなくても「伝統」の三重奏に酔いしれる

当協議会と市文化の森が共催し、9月26日(土)に初めて開いた文化イベント「伊深まち協お月見会」は市内外から多数の参加者があり、盛況のうちに終了しました。

この催しは、当地に伝わる伝統のしきたりと地元の産物をいただく「季節行事」の価値を見つめ直すことで、ささやかな「気持ちのゆとり」を取り戻す機会にしてみようという企画したもので、少しぜいたくな時間として、『琵琶(びわ)』の本格的な演奏も加えて開催しました。

あいにくの天気で月をめぐることはできませんでしたが、「飾りつけ」「郷土食」「伝統音楽」の“伝統”の三重奏で少しリッチな秋の夕べとなったのではないのでしょうか。



プログラム1 十五夜にまつわる話

最初に文化の森の藤村学芸員が伊深の主婦3人にインタビューする形で、それぞれの家の十五夜の飾り方を紹介してもらい、併せて、それを伝えてきた思いなどを語っていただきました。

中には「生家では全くそんなことはやっていなかったが伊深の家では今でも毎月こうした季節行事を欠かさずにやっている。別に苦痛でもなく日常生活の一部になっている」とお話される方もありました。

左 下本郷の村井さん

中 下本郷の森さん
右 上切の河村さん
(飾りつけも)



プログラム2

琵琶の演奏 奏者：田中旭泉 曲目：熊谷と敦盛



次に、今回の特別企画として八百津町在住の琵琶奏者 田中旭泉さんによる琵琶の生演奏（語りと演奏）をお聴きしました。多くの参加者にとっては初の体験で、内容はよく理解できなかったかもしれませんが、源平の争いの中で心ならずも自分の子どもと同年代の敵の大將を討たざるを得なかった熊谷の悲哀が、ときに激しくときに優しく打たれるバチを通して少しは伝わってきたような気がします。いずれにしてもデジタル化、ネット社会の発達で実体験による感動を得ることが少なくなった現在、本物の演奏に触れることができただけでも貴重な体験であったことは間違いありません。特にたくさん参加してくれた子どもたちに何か伝わったことでしょう。

プログラム3

だんご汁のおふるまい

最後に里芋（当地では古くから“ただ芋”と呼んできました）と季節の野菜、だんごを入れた「だんご汁」を参加者全員にふるまいました。昔からの味を懐かしむ年配者が多かったのはもちろんですが、意外にも子どもさん連れが多数参加され、おいしそうにほおぼる姿があちこちで見受けられました。



だんご汁の説明をする上切の井上さん（れんげ会代表）

れんげ会の皆さんには今回のだんご汁ふるまい



十五夜の飾りつけには年配者を中心に関心を寄せる方が多くありました。

についてひとかたならぬお世話をいただきました。

忙しい合間を縫って、藤井市長も参加してくださいました。

今回の催しは当協議会として初の文化イベントでしたが、一定の成果と課題を整理し、次の活動につなげていきたいと考えています。ご参加いただいた地区内の皆さまにはお気軽にご感想、ご意見をお寄せいただくとありがたいです。

【参考】

- 今回の琵琶演奏のごく一部を協議会 HP で動画で紹介しています。
- お月見会全体について CCNet 「ウィークリーみのかも」で放送されます。
放送日 H27.10.12 (月)～10.18 (日)
放送時刻 「ウィークリーみのかも」の放送時間帯 (1日各13回)

■各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。

(代表者の敬称略)

小学校稲作体験支援グループ

代表： 篠田 洋

9.11 (金)、伊深小5年生が稲刈り体験を行いました

5月に植えた田が収穫の時期を迎え、9月11日(金)、手刈りによる稲刈りを行いました。

場所は消防詰所東の田で、今年は品種を「もち」から「うるち(コシヒカリ)」に変更したため、これまでより早い稲刈りとなりました。また、今年は雨が多くて一部倒れたところもあり、足を取られながらの稲刈りとなりましたが、児童らは自分たちで植えた以上の稲を刈り取り、手刈りによる稲刈りの大変さを実感していました。

そのあと、わらを使って束ねることも教わりましたが、こちらはなかなかうまくいかず苦労している姿が見かけられました。

児童らからは「昔の人はたいへんだったことがわかった」「最初はうまくいかなかったがだんだんできるようになってよかった」などの感想が聞かれました。

12月には収穫した米の一部を使って収穫祭を行うことになっています。



地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

9.13 伊深町敬老会が開かれました

— 今年の対象者は216人に —

今年度の敬老会対象者（75歳以上）は新入会者13名を迎えて216名となり、うち97名が参加されました。

催し物ではほくぶ保育園の園児による歌としおりのプレゼントがあったほか、小学校からは運営委員3人が参加し、伊深小が大事にしている活動についての紹介と手紙のプレゼントがありました。メインのアトラクションは魅惑的なベリーダンスで、みなさんの視線はステージに釘付けでした。

会には藤井市長も参加され、お酒を酌み交わしながら歓談されていました。

また、今年もテーブルの上には、大洞の遠山さんの手によるきれいな花が飾られ、会場を華やかにしていました。

今後も元気で過ごせることを祈念し、最後に全員で万歳をしました。



9.20 「伊深本郷」チームが自治会野球3位に入賞

8月16日に始まり毎週熱戦を繰り広げてきた第48回自治会親善野球大会で「伊深本郷」が3位に入賞を果たしました。

伊深の「上本郷」「下本郷」「野地糠亀」の混成である同チームは平成23年度の大会では優勝を果たし、以来上位の常連となってきた強豪で、「上切大洞」「関也」を含む74チームが参加した今大会も毎週の試合を勝ち進み、3位に入賞したものです。



9.27 運動会伊深地区大会が開かれました

— お楽しみ抽選会も盛り上がる —

午前中の小学校運動会に引き続いて市民運動会が開かれ、回復した青空のもと、さまざまな種目で熱戦が繰り広げられました。昨年度から「楽しく参加しやすい大会」をめざして運営方法の見直しが進められてきた大会は今年もお楽しみ抽せん会の方法で偏りを減らすよう一部見直しが図られました。競技の方もケガなく、無事終了したほか、野地糠亀、上本郷の2チームが同点で1位となり、じゃんけんで野地糠亀が優勝となる珍事もおこり、最後まで盛り上がりのある大会となりました。



9.27 今年度の地籍調査が始まります

— 対象地区は上切の中切橋西周辺ほか —

今年度も伊深で地籍調査事業が継続実施されることになり、対象（伊深4地区）の地権者・隣接者を対象とした説明会が9.25、9.27の2日間行われました。ことし「現地確認」が実施されるのは、上本郷の「笹屋敷」と上切の「井上」「流レ」「月元」「西切」「吉元」「南岡下」の7字約17haで、現地確認開始時期は11月の予定。市や推進員からは「なるべく事前に下調べを行っていただくことが事業を円滑に進めるポイント」と説明がありました。



■ 協議会の動き

9月定例会のあらまし

9月の定例会は主に「お月見会」の運営方法について協議したほか、伊深小学校稲作体験活動の報告があり、12月の収穫祭の持ち方については先生方の意向を踏まえて決めることが決ま

りました。また、標柱めぐりに関連して、伊深小3年生のNさんが、標柱をきっかけに伊深温泉の研究を始め、市の作品展で銀賞を獲得したことも報告されました。

伊深まちづくり協議会だより 第31号

2015. 10. 1発行

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町 909 伊深交流センター内

電話 0574-29-1395

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで